

自由に、自分らしく
『印象美』で愛される
ヒト・モノ・まちづくり

「印象美を通して地域
を輝かせたい」と話すの
は、小西敦子さん。株式会
社 WORDROBE の代表
を務め、印象美プロデューサーとして人間の五感を大切にするヒトづくりやモノづくりを行っています。今月開催される全国椿サミット野々市大会では、地域を活かす創造力とその磨き抜かれた感性で椿トーキセッションに花を添えます。

印象と美の結晶

「印象」とは相手の心に忘れられない記憶を残すことです。「美」は元々大きな羊を表す言葉で、羊は見てたくましい・食べて美味しい・着て暖かい・経済的価値で心が潤うといったふ

うに、人間の感覚を満たすものの象徴です。「印象美」は性別によらず相手の五感を満たす印象力を持つことなんです。

印象美なまちへ

私は地域の希少資源や伝統工芸を活用したモノづくりを大事に思い、椿油のネイルパフュームや金澤文香を開発しました。これらを使うことで生まれる印象美なヒトは、周囲に心地よさをもたらします。まちの構成員は言うまでもなく個人です。印象美なヒトが増えることで、地域やまち自体の価値が上がると思っています。地域産のモノを使いヒトを育てることで地域に貢献できれば幸いです。



小西 敦子 さん

(新庄1)

プロフィール

名前 こにしあつこ

誕生日 2月27日

出身地 金沢市

野々市に住んで約16年

趣味 ホットヨガ

菓子木型の鑑賞



今月の表紙

第27回全国椿サミット野々市大会を間に控え、市内は朱鷺色一色のおまつりムード！ということで、今月は米林宏昌監督が椿サミットのために描いてくれたイラストを表紙に採用しました。市花木ツバキを通じて人と人がふれあい、あたたかい交流が生まれ、まちがにぎわう。そんなイベントになってほしいと願い、多くの人が準備万端で開催を待ち望んでいます。当日が楽しみですね！

(問題は10ページ)

【野々市検定回答】

【第1問】B 記念マグカップ

今年度の提案型協働事業で、3つの団体が椿サミットに向けて市花木ツバキを使ったおもてなしのための取り組みに挑戦しています。詳しくは4・5ページへ！

【第2問】D 防災

英語版「野々市市防災パンフレット」のほか、これまでの取り組みの成果物は市ホームページで公開しています。

【第3問】C カレード

市民が万華鏡のように生き生きと多様な輝きを放つ様子が表現されていることが、愛称選考委員会において評価されました。

テレビ広報 **金沢ケーブルテレビネット**

デジタルハイビジョン009ch

のいちふれあい通信

8:00~8:30、18:00~18:30

ラジオ広報 **えふえむ・エヌ・ワン**

FM放送 76.3MHz

パソコン、スマートフォンのアプリでも聴けます！

FM-N1ホームページからクリック！

▶ <http://fmn1.jp/>

ホームタウン野々市

月~金 / 6:30~7:00、11:15~11:55、16:00~17:00

編集後記

● 金沢工業大学と金沢工業専門学校の両校からは毎年、英語版のパンフレットを寄贈いただいています。普段は見慣れたパンフレットですが、不思議なことに、記載が英語表記に変わっただけで何か特別な力を秘めたものに感じられます。北陸新幹線金沢開業から今月ではや2年、以前にも増して多くの外国人が県内を訪れています。特別な力に導かれて、野々市市内がパンフレットを手にした旅行者が溢れかえると素敵ですね。

(K・N)

● 行政提案型協働事業「椿で育てるまちづくり」に取り組む3団体を取材しました。皆さんから共通して伝わってきたのは、市花木ツバキへの愛、そしてふるさと愛。「ツバキを通して地域に良いことを何かできないか」と、事業が採択されるずっと前から考えていたそうです。まちに咲くツバキが、住む人の心に特別な存在として寄り添い、つながりを育む。理想やきれいなだけでなく、野々市で実際にそれが実現されているのを肌で感じ、ほっこりと嬉しさがこみ上げてきました。

(C・N)